



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 高圧ガス工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4097 URL http://www.koatsugas.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)澁谷 信雄
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員財務経理部長 (氏名)大北 隆行 (TEL)06-7711-2571
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	18,892	4.2	1,161	17.7	1,366	20.9	956	34.0
29年3月期第1四半期	18,119	△3.1	986	△11.3	1,128	△14.9	713	△14.7

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 1,062百万円(297.3%) 29年3月期第1四半期 267百万円(△69.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	17.32	—
29年3月期第1四半期	12.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	80,146	52,099	63.9
29年3月期	79,829	51,426	63.3

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 51,238百万円 29年3月期 50,571百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	40,000	9.7	2,100	8.2	2,400	11.8	1,500	7.7	26.98
通期	82,000	7.8	4,700	4.0	5,300	3.7	3,300	0.7	59.37

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	55,577,526株	29年3月期	55,577,526株
30年3月期1Q	372,255株	29年3月期	372,182株
30年3月期1Q	55,205,308株	29年3月期1Q	55,210,045株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、第1四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの条来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の回復により輸出が増加し、緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の売上高は188億92万円（前年同期比4.2%増加）、営業利益は11億61百万円（前年同期比17.7%増加）、経常利益は13億66百万円（前年同期比20.9%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億56百万円（前年同期比34.0%増加）となりました。

当第1四半期連結累計期間における、セグメントの業績は、次のとおりであります。

① ガス事業

『溶解アセチレン』は、建設、橋梁など工事向けの需要が減少し、売上高は前年同期を下回りました。『その他工業ガス等』は、窒素、アルゴン、炭酸ガスが既存需要先の需要回復と新規需要先の獲得により増加しました。LPガス等の石油系ガスは輸入価格の上昇に伴う販売価格の上昇により、売上高は前年同期を上回りました。『溶接溶断関連機器』は、設備投資に持ち直しの動きがあるものの、需要が回復せず、売上高は前年同期を下回りました。『容器』は、特殊容器が減少し、売上高は前年同期を下回りました。

このほか、設備賃貸の収入を加えた当事業の売上高は141億12百万円（前年同期比3.5%増加）となりました。営業利益は10億47百万円（前年同期比13.8%増加）となりました。

② 化成品事業

化成品事業を取り巻く環境は、中国市場の低迷、原料価格の変動などの影響があるなか、新しい技術の開発に注力し、環境にやさしい製品や付加価値の高い製品の開発に努めました。

『接着剤』は、ペガールが新規需要先の獲得により紙用、塗料用、建材用に需要を伸ばし、シアノンが海外向けに医療用が伸長しました。また、ペガロックが新規用途の開発により国内向けが増加し、売上高は前年同期を上回りました。

『塗料』は、建築用塗料が改修用に需要を伸ばし、エアゾール製品は塗料用が新規需要先の獲得により増加し、売上高は、前年同期を上回りました。

このほか、設備賃貸の収入を加えた当事業の売上高は46億18百万円（前年同期比6.3%増加）となりました。営業利益は3億75百万円（前年同期比13.3%増加）となりました。

③ その他事業

鉄道事業者及びバス事業者向けのLSIカードの需要が減少したものの、海外向けの容器の需要が増加し、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1億60百万円（前年同期比12.4%増加）、営業損失は200万円（前年同期比814.3%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億16百万円増加して801億46百万円となりました。流動資産は、現金及び預金、売上債権の減少により前連結会計年度末に比べ3億23百万円減少し、442億89百万円となりました。固定資産は、設備投資による建設仮勘定と株式市場の好況により投資有価証券が増加したことなどにより前連結会計年度末に比べ6億40百万円増加し、358億57百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ3億57百万円減少して280億46百万円となりました。流動負債は、その他で設備支払手形などが増加したものの支払手形及び買掛金、未払法人税等などの減少により前連結会計年度末に比べ6億98百万円減少し、220億96百万円となりました。固定負債は、繰延税金負債の増加により前連結会計年度末に比べ3億41百万円増加し、59億50百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、利益剰余金とその他有価証券評価差額金が増加したことなどにより前連結会計年度末に比べ6億73百万円増加して520億99百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、平成29年5月12日に発表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績は様々な要因によって予想値と大きく異なる可能性があります。

1. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,223	16,579
受取手形及び売掛金	21,241	20,230
電子記録債権	2,312	2,272
商品及び製品	2,482	2,607
仕掛品	429	569
原材料及び貯蔵品	1,185	1,223
繰延税金資産	621	587
その他	208	313
貸倒引当金	△91	△83
流動資産合計	44,613	44,300
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,139	6,094
機械装置及び運搬具（純額）	2,970	2,935
土地	13,550	13,445
建設仮勘定	649	1,336
その他（純額）	945	915
有形固定資産合計	24,254	24,728
無形固定資産	371	353
投資その他の資産		
投資有価証券	9,893	10,084
繰延税金資産	23	19
その他	732	718
貸倒引当金	△58	△58
投資その他の資産合計	10,590	10,763
固定資産合計	35,216	35,846
資産合計	79,829	80,146

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,819	10,195
電子記録債務	5,718	5,875
短期借入金	1,516	1,656
1年内返済予定の長期借入金	33	24
未払法人税等	954	171
賞与引当金	1,147	577
繰延税金負債	0	—
その他	2,606	3,595
流動負債合計	22,795	22,096
固定負債		
長期借入金	3,012	3,008
退職給付に係る負債	631	619
役員退職慰労引当金	39	11
繰延税金負債	1,184	1,537
その他	741	772
固定負債合計	5,608	5,950
負債合計	28,403	28,046
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,885	2,885
資本剰余金	2,761	2,761
利益剰余金	42,193	42,763
自己株式	△198	△199
株主資本合計	47,640	48,210
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,392	3,502
為替換算調整勘定	46	16
退職給付に係る調整累計額	△507	△491
その他の包括利益累計額合計	2,930	3,028
非支配株主持分	854	861
純資産合計	51,426	52,099
負債純資産合計	79,829	80,146

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	18,119	18,892
売上原価	12,899	13,367
売上総利益	5,219	5,525
販売費及び一般管理費	4,233	4,364
営業利益	986	1,161
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	85	97
受取手数料	32	30
為替差益	—	9
その他	115	105
営業外収益合計	235	243
営業外費用		
支払利息	8	8
為替差損	52	—
その他	31	29
営業外費用合計	92	38
経常利益	1,128	1,366
特別利益		
固定資産売却益	—	100
退職給付に係る負債戻入額	31	—
その他	—	0
特別利益合計	31	101
特別損失		
投資有価証券評価損	50	—
ゴルフ会員権評価損	—	8
特別損失合計	50	8
税金等調整前四半期純利益	1,110	1,459
法人税、住民税及び事業税	212	167
法人税等調整額	175	331
法人税等合計	388	498
四半期純利益	721	960
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	713	956

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	721	960
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△450	114
為替換算調整勘定	△14	△29
退職給付に係る調整額	11	16
その他の包括利益合計	△454	102
四半期包括利益	267	1,062
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	265	1,053
非支配株主に係る四半期包括利益	1	8

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,631	4,344	143	18,119	—	18,119
セグメント間の内部 営業収入又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	13,631	4,344	143	18,119	—	18,119
セグメント利益又は 損失(△)	920	331	△2	1,249	△262	986

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△262百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,112	4,618	160	18,892	—	18,892
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	14,112	4,618	160	18,892	—	18,892
セグメント利益又は 損失(△)	1,047	375	△20	1,402	△241	1,161

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△241百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。